



社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻

富田 文子 助教

【研究分野】 障害者福祉、就労支援、職業リハビリテーション、福祉行政サービス
 【キーワード】 障害者、雇用・就労支援、企業、支援機関、教育、合理的配慮
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pid=294fomi>



障害者の就労支援・雇用支援

研究概要

近年は労働力不足が課題ですが、障害者がその能力を活用し就労することは、それらを解決する一助になると考えられます。また、障害者を企業等で雇用する割合（障害者雇用率）が上昇していることから、一層、障害者雇用が促進されていると言えます。

ただ、雇用の実現には、①企業での人材育成や合理的配慮等といった努力と、②就労支援機関における支援、そして、③自治体による支援機関へのサポート・連携という重層的支援の展開が非常に大きな役割であると考えます。

障害者雇用の支援対象は、障害者と企業です。障害者が就労でき、雇用が維持でき、収入を得て希望する地域での生活が維持できるような方策を考えていきたいです。

研究紹介

障害者の雇用形態や賃金体系を研究しています。また、公務員の経験を活かし、地方自治体との共同研究契約を結び、以下も実践しています。

- ・ 障害福祉サービス事業所を自治体が支援するなどの地域の重層的な就労支援の検討
- ・ 相談支援事業所や福祉事務所・保健所等の支援者に向けた障害者就労支援事業所の選択をサポートするツールの開発
- ・ 就労する知的障害者との余暇支援事業を通じた交流が大学生に与える意識の変容の分析

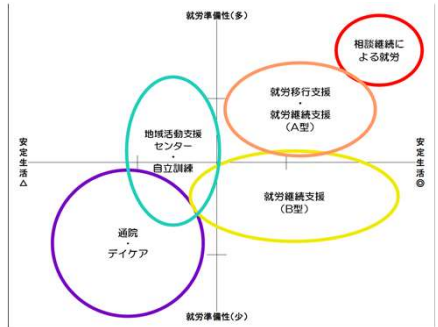


図1 就労支援機関の事業種別による利用時期に関するイメージ（富田2018）

講座テーマ紹介

- ・ 障害者の就労支援を支える地域づくり考える講座
- ・ 何が合理的配慮なのか／どう合理的配慮を提供するかのかの考え方・実践のためのワークショップやツールの開発
- ・ 企業の雇用形態や賃金体系の向上に向けた検討

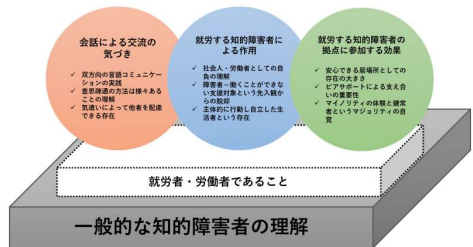


図2 余暇支援事業への参加を通して就労する知的障害者との交流会による交流が社会福祉学系大学生に与える意識の変容の全体像（富田2021）

アピールポイントなど

自立支援協議会専門部会委員や、普通高校における配慮の必要な生徒さんへのサポートに参加させていただき、合理的配慮の提供等の実践を踏まえながら研究を進めています。

合理的配慮の考え方や事例を用いた検討会、企業等の支援者向けのスキルアップ研修などをご依頼いただきました。

障害者の希望する生活を支えつつ、支援者へのサポートも考えた活動をともに考えながら、柔軟な発想で実践していきたいと考えています。